

一般社団法人 教育システム情報学会

Japanese Society for
Information and Systems in Education

ニュース・レター No.214



発行日 2018年5月31日

発行所

一般社団法人
教育システム情報学会

発行者 仲林 清

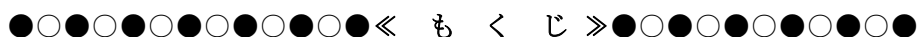
〒162-0801

東京都新宿区山吹町358番地5

アカデミーセンター

URL <http://www.jsise.org>

E-MAIL secretariat@jsise.org



第43回全国大会のご案内・・・・・・・・・・	2	学会 Twitter,	
第2回研究会講演募集・・・・・・・・・・	5	Facebook ページのご案内・・・・・・・・	17
特集号論文募集・・・・・・・・・・	7	他団体協賛・後援のお知らせ・・・・・・・・	18
第1回研究会開催報告・・・・・・・・・・	9	国際会議のご案内・・・・・・・・	19
科研費申請支援制度のご案内・・・・・・・・	10	会費納入のお願い・・・・・・・・	20
2017年度学生研究発表会優秀発表賞・		事務局より・・・・・・・・	22
優秀ポスター賞受賞者・・・・・・・・	11	会員専用ページの案内,	
教育システム情報学会研究会における		学会誌・研究報告バックナンバーのご案内,	
不適切な質問等への対応について・・・	13	新入会員のご紹介,	
研究会報告年間購読の申し込みについて・・・	14	入会のご案内	
支部活動報告・・・・・・・・	15		





第 43 回 JSiSE 全国大会のご案内

テーマ：産学連携が拓く未来の教育・学習プラットフォーム

<http://www.jsise.org/taikai/2018/>

- 開催日時： 2018 年 9 月 4 日(火) ～ 9 月 6 日(木)
- 会 場： 北星学園大学（北海道札幌市厚別区大谷地西 2-3-1）
- 主 催： 一般社団法人教育システム情報学会

■ 大会日程（予定）

9 月 4 日（火）	
午前	プレカンファレンス
午後	開催校挨拶，基調講演，企業セッション，一般セッション（口頭発表およびインタラクティブ(ポスター・デモ)発表)，企画セッション
9 月 5 日（水）	
午前	一般セッション（口頭発表のみ），企画セッション
昼	企業ランチョンセミナー
午後	各種表彰，大会企画パネル，一般セッション（口頭発表およびインタラクティブ(ポスター・デモ)発表)，企画セッション，学生研究特別セッション（インタラクティブ(ポスター・デモ)発表)
夜	懇親会
9 月 6 日（木）	
午前	一般セッション（口頭発表のみ），企画セッション
午後	クロージングセッション，大会奨励賞表彰，公開シンポジウム

(*) 大会日程は変更される可能性があります。

■ 交通アクセスについて

<http://www.hokusei.ac.jp/access/>

札幌市営地下鉄大谷地(おおやち)駅 1 番出口より徒歩 5 分

AIRDO MICE 割引運賃のご案内

札幌市と AIRDO の協定により，今大会では「AIRDO MICE 割引運賃」を利用できます。予約変更可能な割引運賃で，利用対象者は本学会への参加者および参加者の二親等以内の親族となります。予約・搭乗時に必要な「運賃利用承認コード」は，大会参加申込時にご案内いたします。

<http://www.airdo.jp/fare/list/mice.html>

■ 大会までのスケジュール

投稿締め切りの後に、参加申し込みが開始されます。発表者には、参加申し込み開始時にメールでご連絡いたします。

- 2018年6月12日(火) 投稿締切
- 2018年6月14日(木) 参加申込開始
- 2018年7月12日(木) [発表者] 参加申込締切
- 2018年8月7日(火) [発表者以外] 参加申込締切(郵便振替・コンビニ決済)
- 2018年8月17日(金) [発表者以外] 参加申込締切(クレジットカード)

■ 大会参加費

事前申込	当日申込
一般会員：7,560円 学生会員：3,240円 非会員（学生以外）：10,800円 非会員（学生）：5,400円 論文掲載料：1,000円（論文一編につき）	一般会員：8,500円 学生会員：4,000円 非会員（学生以外）：12,000円 非会員（学生）：6,500円
全国大会当日、またはそれ以前に入会手続きを行われる場合は、会員料金でお申し込みいただけます。	
[懇親会費] 一般：5,000円 学生：3,000円	[懇親会費] 一般：6,000円 学生：3,000円

参加費等はいずれも税込みです。支払いの詳細は、大会 Web サイトをご覧ください。

プレカンファレンス、および最終日午後の公開シンポジウムの参加は自由です。これらのみに参加する場合は、大会参加登録、および参加費の支払いは不要です。

■ プログラム

プログラムは変更される可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

- プレカンファレンス
 - 6月下旬にウェブサイトに掲載予定
- 企画セッション
 1. AI/ロボット/VR・AR を用いた学習・教育支援のイノベーション・リノベーション
 2. ラーニング・アナリティクス (LA) の先進事例と課題
 3. 医療・看護・福祉領域における ICT 等活用教育
 4. 対話 (dialogue) は学習にどのような役割を果たしているのか
 5. 小型ハードウェアと電子工作による教育システム・ツールの開発
 6. ICT を活用した PBL(problem / project based learning)の支援
 7. 新技術と教育情報を活用した教育学習環境の設計
 8. 新学習指導要領とプログラミング教育

■ 講演論文集について

第 37 回大会より講演論文集の印刷を廃止し、CD-ROM と Web による配布としております。Web 版の講演論文集は、8月27日(月)に大会参加者のみに公開され、2019年3月1日(金)に一般公開されます。

■ 企業展示・広告の募集

企業展示・広告を募集いたします。お申し込み先など、詳細は大会 Web サイトでお知らせいたします。

■ 協賛金のお願い

大会運営のための諸費用として使用させていただく協賛金を募集しております。ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。詳細は大会 Web サイトでお知らせいたします。

■ 大会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

一般社団法人 教育システム情報学会 全国大会委員会

E-mail : jsise-desk@bunken.co.jp



2018年度第2回研究会 講演募集

不破 泰，小松川 浩，布施 泉，野崎 浩成，金子 大輔（研究会委員会）

■ テーマ：ICTを活用した学習支援と教育の質保証／一般 ※協賛（株）内田洋行

■ 開催日時：2018年7月21日（土）

■ 会場：内田洋行 教育ICT事業部 名古屋丸紅ビル 13F（愛知県名古屋市中区錦 2-2-2）

地下鉄桜通線「丸の内駅」出口6，地下鉄東山線「伏見駅」下車

https://www.uchida.co.jp/company/corporate/bases_7.html

■ 発表申込締切：2018年 6月4日（月）

■ 原稿提出締切：2018年 6月21日（木）

■ 主旨

本年度第2回研究会は、「ICTを活用した学習支援と教育の質保証／一般」のテーマで実施いたします。近年、小中学校・高校では児童・生徒の学力格差が問題となっており、大学では進学率の上昇に伴い、多様な学生を受け入れるようになりました。一方で、高大接続システム改革の流れの中で、各教育課程での厳格な質保証も求められる時代になっています。こうした状況に対して、効果的・効率的にICTを活用することは、ますます重要となっていることから、本研究会のテーマは、「ICTを活用した学習支援と教育の質保証／一般」とします。ICTを活用した学習支援、教材システム、学習支援の環境や技術、学習コンテンツの開発・評価など、e-Learningや学習支援に関する研究ならびに、そのようなシステムやコンテンツの活用事例を通じた教育的な効果や有効性に関する研究を広く募集します。これらの研究を通じて、教育の質保証を図り、学力格差の是正や学習の質的の向上を目指します。また、システム開発やコンテンツ作成をはじめ、教育実践や教材評価、カリキュラムの設計、学習科学、言語教育など、教育に関連した幅広い分野からの発表も歓迎いたします。職場の同僚や共同研究をしているグループなど、お問い合わせの上、奮ってご参加下さい。

なお、第2回研究会は（株）内田洋行の協賛を得ています。当日午後30分程度のデモセッションを開催する予定です。

■ 発表申込および原稿提出

当学会 Web サイト、研究会開催の案内よりお手続き下さい。

<http://www.jsise.org/society/committee.html>

注) 研究報告電子化に伴い、「執筆要項」や「講演申込・原稿の投稿方法」を変更致しました。以下のページをご確認ください。

研究報告執筆要領：<http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>

研究報告見本：<http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>

研究報告ひな形：<http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>

オンライン講演申込・原稿投稿方法：<http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■ 発表時間は1件 25分（発表 17分，質疑 8分）です。

■ 懇親会：研究会終了後，懇親会を開催する予定です。会費は 5000～6000 円の予定です。

■ お問い合わせ先：小松川浩（千歳科学技術大学，第2回研究会担当委員） E-mail：hiroshi@photon.chitose.ac.jp（「@」の部分は，半角の「@」に変えて下さい）



特集号論文募集 —新技術に基づくメディア/デバイスを活用した学習支援環境—

本学会誌では 2007 年に特集号「新しいメディア/デバイスを活用した学習支援環境」を発刊いたしました。それから 10 年が経過し、その間に数多くの新技術に基づくメディア・デバイスが生まれてきました。これらのデバイス・メディアは現代および次世代の学習支援システムを考える上で欠かせないものとなっています。そこで本特集号では「新技術に基づくメディア/デバイスを活用した学習支援環境」に関する論文を募集いたします。一般論文・実践論文のみならず、ショートノート・実践速報としてのご投稿も歓迎いたしますので、奮ってご投稿ください。

1. 対象分野

教育分野にこのようなメディア・デバイスを応用するための基礎的研究、メディア・デバイスを活用した学習支援環境の提案、ならびにこのような環境を用いた教育実践など、当該分野に関する研究開発の論文を幅広く募ります。キーワードは以下の通りですが、これらに限定されるわけではありません。

キーワード: アイトラッカー, 加速度センサ, 力覚デバイス, 全天周カメラ, RGB-D カメラ, 各種センサ・入力デバイス, Virtual Reality, Augmented Reality, Mixed Reality, 位置情報, 3D プリンタ, IoT デバイス (これらに限定されるわけではありません)

2. 論文種別

通常と同様、すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集します。なお、査読結果により、異なる種別での採録となる場合もあります。また、編集委員会の判断で、一般投稿論文として扱うことになる場合もあります。あらかじめご了承ください。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。Web 投稿の際には以下の点にご注意ください。

- 「投稿種別」で「**特集号**」を必ず選択してください。
- 特集論文研究会（2018 年 3 月 17 日（土）開催済）で発表を行った方は、投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、**特集論文研究会での発表題目と発表番号を記載**してください。
- 英文で投稿される場合は、本会英文誌へ投稿してください。英文誌においても同一特集名の特集号論文として取り扱い、和文誌と同様のスケジュールで査読を行います。

英文誌ホームページ : http://www.jsise.org/journal/journal_en.html

4. スケジュール

- 特集論文研究会：2018年3月17日（土）（開催済）

会場：畿央大学（奈良県北葛城郡広陵町馬見中 4-2-2）

- 論文投稿締切： **6月14日（木）まで延長しました**

ただし、論文原稿の投稿に先立ち、**6月8日（金）**までに投稿エントリーをお送りください。投稿エントリーの詳細については、6月1日にメール配信された「jnews:2018年度特集号論文投稿締切 延長のお知らせ」をご参照ください。
事前の投稿エントリーなしで6月9日以降に論文原稿が投稿された場合は、一般号の論文として受け付ける場合があります。あらかじめご了承ください。

- 掲載予定巻号：2019年4月1日発行予定の学会誌（Vol.36, No.2）

（採録通知送付予定：2018年11月初旬頃）

5. 特集号編集委員会

委員長：小西達裕（静岡大学）

副委員長：西野和典（九州工業大学），松原行宏（広島市立大学）

幹事：國宗永佳（千葉工業大学），松田憲幸（和歌山大学），光原弘幸（徳島大学），

千田和範（釧路工業高等専門学校），岡本勝（広島市立大学）

委員：学会誌編集委員，特集号編集委員

6. 問い合わせ

- 特集号全般に関する問い合わせ：

特集号編集委員会副委員長 西野和典（九州工業大学）

E-mail: nishino@lai.kyutech.ac.jp

- Web 投稿に関する問い合わせ：

教育システム情報学会編集事務局

電話：03-5389-6492, E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19 株式会社国際文献社 長澤



2018 年度第 1 回研究会開催報告

- テーマ： 学習環境デザインと実践のモデル／Learning Analytics／医療・看護・福祉における先進的 ICT 利用／一般
- 開催日時： 2018 年 5 月 12 日(土) 10:00～16:25
- 会場： 東京工芸大学 中野キャンパス
- 担当： 松居辰則, 真嶋由貴恵, 加藤泰久, 北村士朗, 森本容介, 仲林清 (研究会委員会)
- 共催： 東京工芸大学
- 発表件数： 11 件
- 参加者数： 62 名

今年度の第 1 回研究会は、「学習環境デザインと実践のモデル／Learning Analytics／医療・看護・福祉における先進的 ICT 利用／一般」をテーマに、東京工芸大学中野キャンパスで開催されました。学習・教育へのロボットの活用、学習システムの開発、授業デザインや学習手法の改善など、計 11 件の研究発表が行われました。参加者は 62 名で、いずれのセッションでも活発な議論が行われました。

本研究会は、学習分析学会(JASLA)と合同開催でした。第 2 セッションまでは JSiSE のセッションが単独で開催され、第 3 セッションは JASLA のセッションと同時開催となりました。

研究会の後、両研究会合同の懇親会を開催しました。JSiSE 会長、JASLA 理事長をはじめ、13 名が参加し、研究会では議論しきれなかった話題の意見交換を行うとともに、今後の両研究会の連携などについて議論を行いました。

会場校として、会場の準備や懇親会の手配にご尽力いただいた東京工芸大学の東本崇仁先生に感謝いたします。

なお、研究発表のタイトルは、以下の通りです。

- ロボットによる教授行動に用いた色情報が人の印象に与える影響
- 医学・看護学教育におけるテクノロジーに触れ・学ぶ機会とコミュニケーションロボット活用
- 地域の認知機能低下予防教室に参加している高齢者のコミュニケーションロボットに対する反応と評価
- 教員による筆記試験採点を支援するシステムの開発に関する検討
- LINE@を利用した英単語学習システムの実装
- cmi5 対応学習管理システムの設計と開発
- システム要求分析における分析の観点を意識させる学習手法の評価
- 課題への取り組みの改善に向けた各種試行と効果 ～相互評価～
- 知識定着を狙う情報学演習の授業デザイン —保育者養成校における演習実践—
- オブジェクト指向プログラミングの利便性に着目した学習手法の改善と評価
- データベース正規化における思考過程を意識させる学習手法



科研費申請支援制度のご案内

本学会では次代を担う若手研究者の方々の自立，研究活動の活性化を積極的に支援することを目的として，科研費申請支援制度を2018年秋より試行実施する計画を進めています．内容は，当該分野での科研費審査や獲得経験を有する複数のシニア研究者が，提出された申請書をもとに，主張点や論旨の明確化など，ご自身の研究内容を審査員に上手に伝えアピールする視点から，採択に向けたコメントを書面で提供するものです．詳細が決まり次第，ニュースレター，jnews，学会HP，Facebook等を通じて順次ご案内する予定です．積極的なご活用を期待しています．

また，9月に開催される全国大会プレカンファレンス(2018年9月4日(火)9時～@北星学園大学)にて，「採択される科研費申請書の書き方と科研費申請支援制度」と題したチュートリアル(*)も実施予定ですので，ご興味のある方は是非参加をご検討ください．

*教育・学習支援システム若手の会による「教育・学習支援システム若手研究者としてのモチベーションと研究アプローチ」とJSiSE人材育成委員会の合同企画です．併せてご参加下さい．



2017 年度学生研究発表会優秀発表賞・優秀ポスター賞受賞者

人材育成委員会

2018 年 2 月末から 3 月上旬にかけて開催されました 2017 年度 JSiSE 学生研究発表会優秀発表賞および優秀ポスター発表賞の受賞者は下記のとおりです。おめでとうございます。

【北海道】

成田 陸斗（釧路工業高等専門学校） 視線追跡型 VRHMD を用いた学生実験用トレーニングシステムの提案

【北信越】

丸山 裕也（信州大学） 音読のポーズ特徴量に基づく音読流暢性アセスメントツールの設計
等々力 崇史（信州大学） 中学校理科「状態変化」単元を対象とした IoT 教材の開発

【関東】

宇野 達朗（早稲田大学） 機械学習を用いた生体情報からの学習者の心的状態のリアルタイム推定と学習支援の試み
足立 祥啓（電気通信大学） 適応的な英文読み合いを行う学習パートナーロボット

【東海】

田中 拓磨（静岡大学） 学習者の能動的な数式変形を促す学習援用 Web アプリケーションの開発
天野 翼（静岡大学） 構造的簡略化を用いた例示型英文書作成支援 Web アプリケーションの開発と評価
蜂谷 真穂（東京学芸大学） 外国語活動における一人一台タブレット端末を使用したプレゼンテーションの研究—異なる授業形態によるプレゼンテーション力・自己効力感・自尊感情の変容に着目して—

【関西】

福永 裕輝（京都教育大学大学院） 算数と理科の連携した指導のあり方 —濃度を事例として—
安増 さやか 他六名（熊本県立大学） 熊本県山鹿市の抱える課題解決を目的としたマンホール蓋を AR マーカーとする AR を活用したスマートフォン向けアプリに関する研究
松岡 知希（大阪府立大学） 達筆くん：手書き文字練習用プロジェクションシステム
花野井 佑（東京学芸大学） 日本語が不得意な児童に対するタブレット端末を用いた支援の研究
市村 優果（京都教育大学） 異分母分数の除法の意味理解における認識特性 —大学生を対象とした認識調査から—

酒井 正人（近畿大学） Kinect と機械学習を利用したラジオ体操動作識別

（以下 3 名、優秀ポスター賞）

竹森 賢（東京工業大学） 構造図を用いた両向き推論支援のための対話型図形論証支援システムの開発と評価

吉本 光希（奈良工業高等専門学校） 予測点数から読み取る野球の「流れ」の分析

長井 孔明（近畿大学） ペンタブレットの運筆情報を利用したペン習字学習支援システム

【中国】

長曾 一樹（広島大学） EBS による学習者の MIF 素朴概念の検出機能の設計

古谷 和輝（近畿大学） VR を用いた運転時の危険予測能力の段階的学習支援システムの試作

濱田 さとみ（山口大学） 中学校数学科合同証明を対象とした「証明構造」の理解を支援する Web アプリの設計・開発に関する研究

（以下 4 名、優秀ポスター賞）

菊田 和希（広島市立大学） スマートデバイスを用いた弦楽器の押弦スキル学習支援システム

買田 康介（広島工業大学） 大学生のための C 言語エディタの開発

大段 由貴子（広島大学） 幾何証明課題の問題解決過程における推論の誤りの可視化

榎本 浩義（広島大学） 数式の構造操作としての工夫計算を対象とした作問学習演習の設計開発

【四国】

山田 晏司（高知大学） プレゼンテーション・リハーサルを対象としたレビュー結果の整理過程と改訂状況の検証に 着目した議論支援システム

柴崎 智哉（高知大学） タイピング学習支援のためのキー打鍵指判定手法の開発

【九州】

生田 寛（熊本大学） オンライン自由記述問題の解答に対する即時フィードバックのための自動評価手法

小宮 純樹（九州工業大学） スポーツにおける運動有能感への原因帰属の影響と技術指導による変化

宮崎 椋瑚（有明工業高等専門学校） GA を活用した電子回路設計のための学習支援システムの開発



教育システム情報学会研究会における 不適切な質問等への対応について

教育システム情報学会 研究会委員会

教育システム情報学会研究会は、教育システム情報学に関わる最新の研究や実践に関する情報交換および意見交換を通して、学会の発展、ひいては当該研究分野の発展において極めて重要な役割を果たしています。さらに、専門領域の近い研究者による緊密なネットワークが大学や研究機関を越えたところで構成されているため、若手研究者の発掘や育成、今後社会に出る学生の教育の場としても、研究会の重要性は非常に大きくなっています。

こうした研究会においては、様々な立場の参加者が自由闊達に議論できることが最も重要です。一方で、意見交換や育成・教育の範囲を大きく逸脱して、研究方法や研究分野、さらには発表スタイルなどを問題とする質問等を執拗に行い、発表者や聴講者に不快感や不利益を与えることは厳に慎まなければなりません。こうした問題が放置されると、研究会への参加だけでなく、学会活動全般、さらには教育システム情報学への関心の拡大に大きな悪影響を及ぼします。

教育システム情報学会研究会においては、意図の有無に関わらず、正当な根拠なく相手に不利益を与え、相手の尊厳を侵害する行為があった場合に、研究会担当委員および座長担当者が、質問の制止や質問者に退席の指示を行えるものとしています。研究会の参加者だけでなく、研究会に関連する全ての人々が快適で安心して研究会に寄与できる環境を維持し、研究分野のさらなる発展と、これを通じた社会貢献を行うために、研究会における皆様の建設的な質疑へのご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、現在 31 巻を数え、これまで教育システム情報学に関して毎年 140 件程度の研究成果(2014 年度 139 件、2015 年度 138 件の発表論文)を掲載し、大変多くの皆様にご購読いただけて参りました。2016 年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得となっております。

- ・年間購読:4,000 円(定例研究会年 6 回、特集研究会 1 回、計 7 回分を含む)
- ・当日販売:1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いいたします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をいただいている方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====
※研究会報告年間購読希望
会員番号 (お分かりであれば) :
お名前 :
所属 :
連絡先 e メールアドレス :
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

関東支部より活動報告



関東支部 2018 年度支部総会 開催報告

関東支部 支部長 松居辰則（早稲田大学）

教育システム情報学会関東支部の 2018 年度支部総会を、2018 年 5 月 12 日（土）に東京工芸大学 中野キャンパスにて開催いたしました。支部会員の出席者 14 名と委任状 47 名の計 61 名により総会が成立いたしましたことをご報告いたします。議事として以下の事項について提案し、ご承認いただきました。

1. 支部役員の構成

本年度の支部役員および運営委員の構成は、以下の通りです。

支部長：松居 辰則（早稲田大学）

副支部長：國宗 永佳（千葉工業大学），山本 樹（創価大学）

幹事：大崎 理乃（産業技術大学院大学），辻 靖彦（放送大学）

運営委員：

総務担当：佐々木 整（拓殖大学）

財務担当：小林建太郎（デジタル・ナレッジ）

企画担当：國宗 永佳（千葉工業大学） ※兼務

広報担当：辻 靖彦（放送大学） ※兼務

監査：加藤 泰久（東京通信大学）

植野 真臣（電気通信大学）

仲林 清（千葉工業大学）

柏原 昭博（電気通信大学）

長谷川 理（武蔵野大学）

小島 一晃（帝京大学）

山崎 治（千葉工業大学）

田和辻可昌（早稲田大学）

渡辺 博芳（帝京大学）

東本 崇仁（東京工芸大学）

2. 2017 年度活動報告と 2018 年度活動計画

3. 2017 年度予算報告と 2018 年度予算計画

関東支部独自の新たな企画といたしまして、(1) メールマガジンの配信と、(2) 新イベント「リサーチ・コモンズ」（仮称）の開催（11 月開催予定）を計画しております。いずれについても現在、幹事団・支部運営委員で詳細について構想しております。「リサーチ・コモンズ」（仮称）開催の際には、支部

会員の皆さまのご協力とご参加をいただきましたら幸いです。

末筆になりますが、今後も支部会員ならびに学会員の皆さまより、本支部の活動へのお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

関西支部より活動報告



2018年度教育システム情報学会関西支部総会開催報告

2018年度関西支部総会を平成30年5月13日（日）に大阪電気通信大学 駅前キャンパスにて実施しました。関西支部会員 254名、出席者 22人、委任状提出 29名で総会は成立いたしました。

概要

審議事項

- (1) 2017年度事業報告
- (2) 2017年度会計報告
- (3) 支部役員選挙

報告事項

- (4) 運営委員
- (5) 2018年度事業計画

※総会資料は、<http://www.jsise.org/~kansai/events.html#meeting> に掲載していますので詳細はこちらをご覧ください。

特筆すべきこととして、下記の2名の先生方に支部顕彰が授与され、西端支部長より表彰状と記念品（目録）が贈呈されました。受賞理由は以下の通りです。

- ・田中 規久雄 氏（学会の法人化に際して、特に全支部共通の支部会則の原案を検討され、関西支部会則と支部細則の策定に大きく貢献されたため）
- ・中條 道雄 氏（関西支部支部長を2期4年務められ、学生研究発表会の現在の基盤を作られるなど、関西支部の発展と若手育成に大きく貢献されたため）





2018 年度教育システム情報学会関西支部研究会開催報告 次世代の教育インフラ構築にむけて ～BYOD と COPE の成功の鍵を探る～

2018 年 5 月 13 日（日）2018 年度関西支部総会終了後、同会場（大阪電気通信大学駅前キャンパス 1 F-101）にて第 1 回関西支部研究会を開催しました。

◎14：00 受付

◎14：15 招待講演

- ・尾崎 拓郎氏（大阪教育大学）
大阪教育大学における BYOD への挑戦
～全学必修情報基礎科目の実践とその支援体制の構築～
- ・宮崎 誠氏（畿央大学）
COPE 方式による教育環境の転換の取り組み
- ・高木 純平氏（近畿大学 総合情報システム部）
クラウドを活用した近大流 BYOD における課題とその解決方法

◎16：10 パネルディスカッション

◎17：00 閉会

概要

近年の教育の情報化、アクティブラーニングや反転授業への ICT 技術の適用といった流れの中、教育現場における ICT 環境の整備は非常に重要となっています。そこで本研究会では、教育インフラ整備の第一線で奮闘されておられる 3 名の招待講演者をお招きし、COPE ならびに BYOD のアプローチからその現状や運用ノウハウ、課題をお話していただきました。尾崎氏には、BYOD (Bring Your Own Device)、宮崎氏には COPE (Corporate Owned, Personally Enabled) でのアプローチから、その実現までの課題や解決方法を紹介されました。高木氏には、BYOD To Class に向けてインフラ整備を進めていくアプローチを紹介されました。

また、最後にパネルディスカッション形式で、参加者 3 名の講演者との活発な質疑や意見交換を行いました。

一般参加の方を含め 47 名にご参加いただき、盛況に終わりました。ご参加いただいた会員の皆様ありがとうございました。





他団体 協賛・後援のお知らせ

協賛 「日本情報科教育学会第 11 回全国大会」

日時：2018 年 6 月 23 日（土）～24 日（日）

会場：東京学芸大学

協賛 「平成 30 年度工学教育研究講演会」

日時：2018 年 8 月 29 日（水）～31 日（金）

会場：名古屋工業大学

協賛 「第 20 回日本感性工学会大会」

日時：2018 年 9 月 4 日（火）～6 日（木）

会場：東京大学工学部二号館

協賛 「ヒューマンインタフェースシンポジウム 2018」

日時：2018 年 9 月 5 日（水）～7 日（金）

会場：筑波大学

後援 「全国高等専門学校第 29 回プログラミングコンテスト」

日時：2018 年 10 月 27 日（土）～28 日（日）

会場：アスティ徳島



国際会議のご案内

- 2018年11月開催
 - ◇ The 26th International Conference on Computers in Education(ICCE2018)
開催期間 : November 26-30, 2018
開催地 : Metro Manila, Philippines
URL: <http://icce2018.ateneo.edu/>
論文投稿スケジュール : 締切済み

- 2018年12月開催
 - ◇ IEEE TALE2018: The IEEE International Conference on Teaching, Assessment, and Learning for Engineering 2018
開催期間 : December 4-7,2018
開催地 : Wollongong, Australia
URL: <https://www.tale2018.org/>
論文投稿スケジュール : Paper Submission Due: June 11, 2018



会費納入のお願い

2017 年度年会費納入についてのお願いです。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、ご協力のほどどうぞよろしくお願い致します。

- 「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託
をしております、株式会社国際文献社のものになります。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱東京 UFJ 銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【2017年度あるいはそれ以前の会費を支払われていない方】

マイページでは、すべての会費が合算された金額が請求されます。先に2017年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、定款の定めに従って除名手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局 (secretariat@jsise.org) までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-5937-5816 Fax:03-3368-2822 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものになります。

■会員専用ページでは、以下のことが可能になります。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要となります。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



学会誌・研究会報告のバックナンバーのお求めは

(株)毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2 階

TEL : 03-6267-4550 / FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp / URL : <http://maf.mycom.co.jp>

■JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■年間購読料 4,000 円 / 年 6 回発行 <送料込>

新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました。 2018年3月24日～2018年5月25日

会員名	会員種別	会員名	会員種別
鈴木 一彦	正会員	原 皓輝	学生会員
小林 浩二	正会員	大村 周平	学生会員
濱崎 利彦	正会員	藤本 かおる	正会員
小谷 晶子	正会員	森 幹彦	正会員
吉良 元	学生会員	上村 英男	正会員
川村 千絵	正会員	紺谷 京子	学生会員
中川 哲	学生会員	濱田 さとみ	学生会員
龍 則道	正会員	土橋 喜	正会員
岡 亨	正会員	山本 光	正会員
西仲 則博	正会員	本村 康哲	正会員
中村 一浩	学生会員	小山 裕司	正会員
安藤 文人	正会員	小菅 李音	学生会員
疋田 将之	学生会員	佐藤 雅希	学生会員
谷野 圭亮	正会員	周藤 祐汰	学生会員
折田 明子	正会員	浅野 勇大	学生会員
和田 健	正会員	清水 菜々子	学生会員
仲谷 佳恵	正会員	幸田 尚也	学生会員
切通 優希	学生会員	鴻池 泰元	学生会員
田中 千恵	学生会員	大江 香織	学生会員
中谷 隼斗	学生会員	カッティング 美紀	正会員
峰内 暁世	正会員	水津 久美子	正会員
森田 海	学生会員	今西 正和	学生会員
下川 輝	学生会員	福井 昌則	学生会員
田尻 慎太郎	正会員	中村 宏	正会員

入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などをメールにてご案内いたします。教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

URL: <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金を無料に**させて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。